

平成28年11月30日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(41回公演)報告

28.11.29 特別養護老人ホームルーエ 熊谷市川原明戸

「南京玉すだれクラブ」の公演も40回の区切りから次の目標に向かってスタートです。

1時に熊谷武体交差点にある「山田うどん店」の駐車場に集合し、そこから近い会場に向かいました。この施設は発足5年目の新しい施設で、入所者を含め約100名の方をお世話しています。近くには荒川土手があり、遠く秩父の山々が望める景色の良い場所です。

玄関には理事長さんや公演依頼をされた和田さん他職員の方々から出迎えを受け、会議室に案内され早速作務衣に着替えて準備をしました。

開始の2時に約50名の入所者と20人程の職員の方々の拍手に迎えられ公演会場に入りました。簡単な挨拶の後、舛田さんの口上で「南京玉すだれ」の演技が始まりました。今回の特徴は、「テレビでは見た事があるが、実際目の前で演技を見るのは初めて」という大勢の職員の方が興味をもち集まってくれました。

唄に合わせて自在に形を替える手さばきに拍手喝さいで、「すごい、すごい」という高齢者の声があちこちから聞かれました。

「麦畑」の演技では、曲に合わせた手拍子を大勢からいただき、次第に公演が盛り上がっていきました。そのあと高齢者の方々に「玉すだれ」を実際に手に触れてもらい、「玉すだれ」を開いた状態で写真撮影をしました。根岸さんの健康体操「ササエさん」では、今回も職員の方には赤いエプロンを着用してもらい、みんなでリズムに合わせて体を動かしました。最後に「きよしのズンドコ節」で約1時間弱の楽しい公演が終わりました。

帰りには施設長さんから「また来てもらえますか」という嬉しい言葉に「是非またやらせて下さい」とお応えし帰ってきました。



